

那須塩原市三島中学校区共同実施の紹介

はじめに

那須塩原市の共同実施は、平成17年度、西那須野中学校に加配を受け、同中学校区に西小学校(三島中学校区)を加え5校で開始。初年度は要項作成や教育委員会との協議で下準備を行い、翌18年度より実践活動に着手。3年目に当たる本年度は加配を西小学校に移し、新たに三島中学校区を加えて2ブロックで研究を推進。これにより、西那須野地区全域で実施となる。本年度は、関係学校長を交えた説明会開催と兼務辞令交付があり、事務支援室と各校の業務委託・受託を交わして研究開始する。ここでは、三島中学校区事務支援室の活動概要について説明します。

I 共同実施の実践方針

1 基本的な考え方

- ①関係各校に活動の恩恵が感じられる内容を中心に据えた活動
- ②年間計画を作成し活動
- ③研究経過を所属長に報告
- ④研究報告会を開催

2 活動の概要

- ①運営の指針 ○共同で処理できるものを選択し分担 ○事務の標準化を推進
- ②実施回数 ○月1回程度定例的に開催 ○夏季休業等の長期休業中に集中して開催
- ③開催時間等 ○通常午後の2時から3時間程度 ○給与審査等の利用により時間確保
- ④内容 ○何をするかだけでなく、何でも実践して検証 ○効率化のためコンピュータ有効活用

3 活動の詳細

- ①円滑な学校運営、教員等の負担軽減の方策検討
- ②これまでに固守しない
- ③得意分野を生かし共有、改善点の真摯な検討
- ④担当分野の割り振り検討
- ⑤毎回の課題で成果を上げる
- ⑥次回までの課題を設定、検討結果を持ち寄る

II 三島中学校区学校事務支援室活動計画

活動目標：1 学校に見える活動 2 連携各校のレベルアップ 3 職員の負担軽減

月\業務	不定期業務	定例業務
6/7 木 月末	・共同実施連絡会議・活動打合せ ・共同実施委託・受託事務	①文書共同処理 ②給与旅費事務 ③支払伝票処理 ④その他 ※共同処理のシステム検討 ・まとめ・点検表
7/5 木 ～20迄 24 火	・年間活動計画作成 ・事務検討・施設見学(西小) ・広報紙発行(活動紹介、福利厚生給付、他) ・給与旅費共同処理・パソコン利用 (槻小)	
8/23 木 24 金	・遠足バス等契約・教材備品契約 ・視察研修(鹿沼市) (三中)	
9/18 火	・学校財務事務(学校予算処理・学年会計) ・予算要望事務 ↓(三小)	
10/18 木	・諸手当点検 ・中間活動反省	
11/13 火	・就学援助認定事務 広報(活動報告・年末調整・共済補助)	
12/17 月	・文書事務(処理方法・保管・活用) ・校内情報管理 ・広報(活動報告・年末調整・扶養確認・福利厚生給付・他)	
1/	・会計決算事務(公費・私費)	

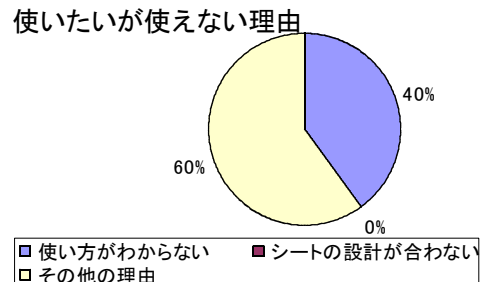
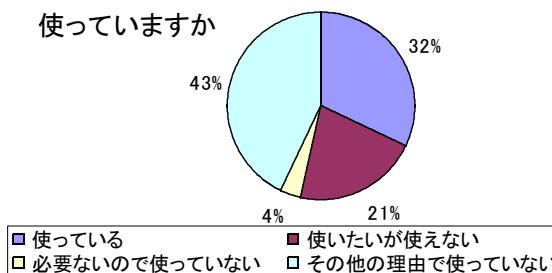
備考 活動は研究事項・実務事項の2本立て 各月の課題は通常翌月で完結する

III 研究・実践事例

1 文書受付データの配信実施

※栃事研共同実施実践事例集で説明

文書事務の省力化を図るため9月1日配信開始 10月アンケート実施



当初、西小学校の配信のみでしたが、文書11月より中学校の文書を三島中学校が配信

2 バス借り上げ入札方式による契約の検討

- (1) 概要 遠足・修学旅行、その他の行事で担当教員がバス借り上げの手続きをしており、前年度踏襲型が多い。事務部で入札方式を導入すれば、教員・保護者の負担軽減が期待できる。
- (2) 方法 修学旅行以外はFAXで見積依頼。用意した様式で返信。修学旅行は、業者様式。バス代、宿代、取扱手数料等の経費一覧表を作成し、検討会議で決定。
- (3) 実施状況 バス代が前年度比で1割から2割減額。
- (4) 課題・改善点
 - ①課題 修学旅行は、木金を優先すると宿が取りにくい。何を優先するか。見積時期。
 - ②対策 曜日・宿の両立には2年以上先の予約が必要。金・土、日・月などに振り替えると宿は取れる。日程詳細を指定せず業者の企画させる。業者説明会開催もよい。

3 インターネットバンキング利用の検討

- (1) 概要 インターネットバンキングは、インターネットを通じて金融機関のシステムに接続し、振込みや預金残高照会などをオフィスや自宅できるシステム。オンラインバンキング。学校では公金会計の他に学年で扱う会計があり、各学年会計教員は少ない空き時間を利用して入出金と業者への支払い、そして帳簿管理を処理しており、負担に感じていることが多い。この会計事務の省力化が図れば、教員の事務負担軽減に大きく貢献することが見込める。

インターネットバンキング利用手数料一覧 平成19年9月調べ

銀行名	手 数 料						利用手数料 月額
	同一店内		本支店間		他行あて		
	3万円未満	3万円以上	3万円未満	3万円以上	3万円未満	3万円以上	
足利銀行	無料	無料	無料	無料	210円	420円	105円(初年度無料)
栃木銀行	無料	無料	105円	315円	420円	630円	1,050円(照会、振込サービスのみ) 3150円(webデータ伝送サービス併用)
大田原信用金庫	会員105円 非会員210円	会員210円 非会員315円	会員105円 非会員210円	会員210円 非会員305円	会員210円 非会員420円	会員420円 非会員630円	1,050円
ゆうちよ銀行	110円	110円	110円	110円	取崩なし	取崩なし	無料
JA	無料	無料	県内105円 県外315円	県内210円 県外525円	315円	525円	無料
白河信用金庫	無料	無料	105円	210円	210円	420円	210円
福島銀行	無料	無料	105円	315円	420円	630円	210円組戻手数料1,050円

※教員の事務負担軽減のため、市教育委員会へ要望

- (2) 必要な準備・課題
 - ①利用料をどう扱うか ・金融機関サービス・公費負担・保護者負担・業者負担
 - ②校内体制の整備 ・利用規定の整備 掲載システム、パスワード管理等
- (3) 実施に向けた方策 使用のための交渉あるいは予算措置について教育委員会へ協力を要望

おわりに

10月末に活動の中間反省・評価を行いましたので、その中から今後の共同実施活動に向けた課題・対策の部分紹介し、まとめとしたい。

- (1) 成果・課題
 - ・月1回半日では時間の制約が大きく、予定した内容がなかなか消化できない。
 - ・文書データ発信で文書收受事務の省力化になっている。
 - ・学校に見える、職員の負担軽減になる活動は難しい。
 - ・給与旅費審査書類作成など(定例業務)の共同処理は、施設と軌道に乗るまで時間が必要。
 - ・共同実施組織間の連携がなく、独自に活動している状況。
- (2) 対策
 - ①実施時間の確保・・・回数を増やすなどの時間確保が望まれる。
学校を空けると、特に小学校では職員室が空になる状況が起きやすい状況を踏まえ、集合する時間は最小限に抑えねばならない。学校の理解を得て、改善していきたい。
 - ②組織間の協力体勢確保・・・情報の共有化を図るため、連絡会を開催するとともに、組織間の格差をなくし、共に高め合えるよう組織間の協力体勢が必要と考える。これにより、さらにレベルアップが期待できる。そのためには、組織をつなぐ役割分担が必要である。現在、その体勢は取られていない。
 - ③実施組織拡大・・・事務職員の情報が増え、組織同士が高め合えるよう、組織(ブロック)を拡大したい。そのためには現在の活動が理解を得られるものであることが必要である。
※現在、西那須野地区で二つの組織が活動しているが、市事務部会の活動として、塩原地区(箒根中学区)、黒磯地区(黒磯北中学区)でも研究を実施しているが制限が多い。次年度以降、市全体での共同実施を目指したい。